



アブラゼミの羽化

田園風景



緑色の田んぼが徐々に黄色へと移ろいできました。田んぼで育つ水稲は真夏に花を咲かせ、今はコメが実り始めています。少し前まで天を目指していた稲穂はコメが太っていくにつれ下を向いていきます。畔に並ぶヒガンバナが真っ赤な差し色を足して、黄金色になっていく田んぼに美しい表情を見せてくれるでしょう。南足柄市では田んぼも畑の耕作も盛んです。のどかで豊かな田園風景が自慢のふるさとです。

今、ふれあいの村では・・・

暦の上では秋ですが、蒸し暑い日々が続いていますね。しかし、ふれあいの村の木々に目を向けると秋の装いが少しずつ訪れているようです。

◆散策路を歩いていると、一円玉ほどの大きさの赤い果実を見つけました。ヤマボウシの果実です。生食やジャムなどに加工して食べるのができますが、あまり馴染みのない果実ですね。しかし、野生動物には人気で、ふれあいの村では野鳥が啄んでいる姿を見かけることができます。

◆日当たりの良い草地でショウリョウバッタを見つけました。よく見ると大きいメスの背中に小さなオスに乗っています。名前の由来は諸説ありますが、精霊流しの精霊船に姿が似ることから来ています。



ヤマボウシ



ヘクソカズラ



ショウリョウバッタ



マメガキ



ウバユリ



クリ

エゴヒゲナガゾウムシ
(別名ウシツラヒゲナガゾウムシ)

エゴノキの仲間のハクウンボクの木にたくさんの実がついているね。レモンかしずくのような形をしているよ。実に小さい穴が開いているのを発見したよ。

何の穴かなと思っていたら黒っぽい虫を見つけたんだ。ゴツゴツした体で長いひげのような触角があった。顔を正面から見たら、目が離れていて牛のような面白い顔に見えてきた。

実に開いていた穴は、この虫が産卵をするために、象の様な長い口で開けたらしい。種の中で生まれた幼虫は美味しい栄養を食べて大きくなるんだね。



ハクウンボク



エゴヒゲナガゾウムシ

★フィールドワーク★

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。



ヤモリ



ノギリクワガタとカナブン



ニイニゼミ



コブシの果実

管理棟の網戸に迷彩柄をした小さなセミが止まっていました。

ニイニゼミです。このセミは樹皮そっくりの色合いをしており、自然の中にと鳴き声は聞こえますが姿は樹皮に溶け込んでしまい発見することは非常に困難です。

ニイニゼミは分布域が狭く、絶滅の危険性が高いとされています。

◆木々の中にデコボコした形の果実を見つけました。コブシの果実です。独特な形のこの果実は複数の果実が集合してできた「集合果」で、ゴツゴツとした握りこぶしのような形が特徴です。

秋頃に果皮が割れて、中から朱色の種子が顔を出し野鳥たちに好まれています。花期は早春で、甘く爽やかな香りが特徴で生薬にしたり食用などに使われるようですが、樹皮には毒が含まれていますので注意が必要です。

【イベントのご紹介】

※お問合せは、足柄ふれあいの村に電話(0465-72-2010)されるか、『足柄ふれあいの村』のホームページにアクセスしてください。

※今後、変更等がある可能性がありますので『足柄ふれあいの村』のホームページを随時ご確認ください。

「バリアフリーキャンプ」のご案内

障がいのあるお子様とその家族が自然とふれあい、心も体もリフレッシュ！収穫体験や野外炊事など、様々な体験を楽しみ、家族ですてきな思い出を一緒に作りましょう。

実施日) 令和7年10月25日(土)～26日(日)【1泊2日】
会場) 足柄ふれあいの村
対象) 障がいのある児童・生徒とその家族
定員) 30人
参加費) 中学生以上8,000円/3歳以上～小学生5,700円
申込期間) 令和7年8月5日(火)～令和7年9月19日(金)

★来月のファミリーコミュニケーションの日:10月5日(日)

10:00～12:00《自然観察会》足柄の森でキノコマがし

※参加費は無料です。

※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催中です。

※申込み・問合せは電話などでお気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村(南足柄市広町1507)

電話: 0465-72-2010 FAX: 0465-72-2013

指定管理者: 株式会社アグサ

所管課: 神奈川県教育委員会教育局支援部
子ども教育支援課

URL: <http://www.ashigara-fureai.com/>